

別表5 窓口事務の処理等の状況

単位：円

区	戸籍関係	印鑑関係	分	増、抄本	身分証明	戸籍附票	受理証明	登録	廃止	証明
件数	4190	186	181	161	2200	6	25,012			
手数料	831,500	18,600	15,500	16,100			249,860			

住民記録関係

籍抄本	閲覧	転入	転出	転居	死亡	出生
18,443	160	1,716	1,444	639	128	536
182,340	69,500		144,400			

その他の関係

外縁証明	仮ナンバー	その他の証明	赤電話料	雑入	合計
486	2,560	628		174	58,850
48,400	1,023,600	52,300	201,920	9,100	6,752,920

別表6 火葬費等の助成金交付状況

単位：円

区分	死産(胎)児	10才未満	10才以上	計
人数	14人	10人	105人	129人
火葬費	7,000	10,000	126,000	143,000
霊柩車	81,400	61,100	625,800	768,300
計	88,400	71,100	751,800	911,300

別表7 交通災害共済加入状況

加入人数	納入会費
一般 中学生以下 計	加入率 一般 中学生以下 計
2484人 7,246人 9,730人	196% 993,600円 1,811,500円 2,805,100円

別表8 消防団編成状況

単位：人

区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本部	1	4		相等職1	相当職5			11
第1分団			1	2	3	9	20	35
2 "			1	2	3	9	20	35
3 "			1	2	3	9	20	35
4 "			1	2	3	9	20	35
5 "			1	2	3	9	20	35
計	1	4	5	11	20	45	100	186

別表9

消防水利の状況

防火水槽			消火栓		
40m ³ 以上	40m ³ 未満	計	150mm以上	150mm未満	計
65	62	127	246	108	354

別表10

火災発生状況

建物	車両	その他	計
全焼 半焼 燻や			
5 1 12	2	12	32

別表11

火災原因状況

火遊び	タバコ	ガステーブル	花火	不明	その他	計
6	6	4	3	1	12	32

別表 12 消防団員出動状況

区 分	回 数	人 数	費用弁償額
火災出動	30回	3,437人	4,124,400円
警戒	11	729	874,800
訓練	65	5,239	6,286,800
その他	2	61	73,200
計	108	9,466	11,359,200

別表1 3 災害対策用応急物資備蓄状況

毛 布	ゴ ザ	乾 パ ン
800 枚	150 枚	7,808 食分

別表14 公害調査実施状況

1 水質調査

(1) 調査場所 多摩川（南公園附近）

調査項目及び結果

調査日	天候	気温	水温	臭気	色相	PH	BOD	COD
6月13日	雲	24.5 ^{°C}	21.0 ^{°C}	なし	無色	7.7	3.7	10.4
11月7日	晴	16.0	16.0	なし	無色	8.2	2.8	3.9

SS	シアン	全クロム	鉛	DO	アンモニウム	リン
11.0	ND	ND	ND	8.0	4.3	0.58
3.0	ND	ND	ND	11.5	1.5	0.30

基準値以上

ND 検出限界値以下

(2) 調査場所 多摩川及び下の川等

調査日 4月4日

調查項目及結果

場 所	項 目	一 般 項 目		特 殊 項 目		健 康 項 目			そ の 他 の 項 目	
		PH	SS BOD	フエノール類	nヘキサノン抽出物質	全クロム六価クロム鉛	カドミウム	全水銀	アンモニウムイオン	ABS
多摩川柳山公園附近		7.7	29	15.8						
" 五日市線鉄橋附近		7.3	6	5.6						
" つくし保育園 "		7.4	8	3.1						
下の川7小裏附近		7.1	16	58.1						
" 3中裏 "		7.1	23	71.8	8					
" 熊川住宅附近		7.5	160	22.2	7					
牛浜ガレージ附近					ND					
都市下水路		7.4	16	16.4	ND					
トツバナムーア附近					ND					
都市下水路排水口		7.4	34	60.6	ND					
中福生排水口		7.2	26	73.6	5					

調査は毎月1回実施し、その調査項目及び結果は上記のものとほぼ同様の傾向を示している。

2 騒音調査

(1) 国道16号線自動車騒音等の調査

区 分	6月13日から 6月22日まで 武蔵野橋附近			横田派出所附近			
	限度値	測定値	交通量 台/時	限度値	測定値	交通量 台/時 大 型 小 型	
朝	55 ^{ホン}	71.8 ^{ホン}	828.6 台	65 ^{ホン}	76.5 ^{ホン}	249.0 台 348.0 台	
昼	60	71.4	893.1	70	76.1	227.5 399.8	
夕	55	69.3	759.1	65	69.9	118.5 445.5	
夜	50	64.5	400.5	60	65.9	162.0 87.4	

(2) 航空機騒音等の調査

		5月	7月	8月	9月	10月
一日平均飛行回数	7時～19時	35	38	37	35	44
	19時～22時	8	7	9	6	10
	22時～7時	2	2	3	4	6
	計	45	47	49	45	60
1日平均加重等価平均騒音レベル(WECPNL)		93	96	95	87.2	88

別表15 苦情申出受付件数調

区 分	汚 水	騒 音	悪 臭	ばい煙	粉じん	その他	計
事業所	1	10	4	2	1	1	19
一 般		10	5			1	16
計	1	20	9	2	1	2	35

別表16 工場等の認可申請等の状況

件 名	件 数	件 名	件 数
工場設置認可	6	特定建設作業届出	7
工場変更認可	(保留2) 6	電気供給通知	7
指定作業場届出	7	工場廃止届	1

第一回福生市議会

定例

会会議録(第四号)

昭和五十五年三月十一日福生市議会会議場に第一回福生市議会定例会が開催された。
出席議員は次のとおりである。

一番	石川慶一郎君
三番	加藤謹之助君
五番	東浦春浪君
七番	森田治男君
九番	小野沢久君
十一番	原敏子君
十三番	小林菊三君
十五番	鈴木藤次郎君
十七番	関米吉君

二番	仲村清信君
四番	高水惣八君
六番	村尾栄次君
八番	遠藤洋一君
十番	松山清君
十二番	村野武男君
十四番	貫井喜代次君
十六番	東田正治君
十八番	

第一定
第二目

十九番	宮沢良一	君	二十番	指田保雄	君
二十一番	末次性男	君	二十二番	小堺仁七	君
二十三番		君	二十四番	塩野鉄之助	君

一 欠席議員は次のとおりである。

八番 田村市郎君

一 欠員は次のとおりである。

二十三番

一 議会議務局職員は次のとおりである。

議会議務局長	古谷徳男	君	議事係長	市川昭利	君	臨事速記事務補佐員	川久保友子	君
--------	------	---	------	------	---	-----------	-------	---

一 出席説明員は次のとおりである。

市長	石川常太郎	君	助役		君
収入役	橋本孝蔵	君	教育長	町田倍二	君
企画財政部長兼議務局長	上野重勝	君	総務部長		君
市民部長	生子国利	君	福祉部長	森田猛	君
建設部長	浅見裕康	君	教育次長	内田和雄	君
水道事務所長		君	監査委員事務局長事務取扱	高水求	君
事務取扱参事	田村忠雄	君	参事		君
選挙管理委員会事務局長	乙津宗吉	君			

一 本日の議事日程は次のとおりである。

昭和五十五年第一回福生市議会定例会議事日程(第二日目)

開議日時 三月十一日(火) 午前十時

日程第一 議案第二十三号 昭和五十五年度福生市一般会計予算

日程第二 議案第二十四号 昭和五十五年度福生市国民健康保険特別会計予算

日程第三 議案第二十五号 昭和五十五年度福生市福生都市計画事業福生土地区画整理事業会計予算

日程第四 議案第二十六号 昭和五十五年度福生市下水道事業会計予算

日程第五 議案第二十七号 昭和五十五年度福生市受託水道事業会計予算

日程第六 議案第二十八号 市道路線の認定について

日程第七 議案第二十九号 市道路線の廃止について

日程第八 陳情第一号 国鉄運賃値上げ反対、総合交通政策の確立に関する陳情書

日程第九 請願第一号 都立高校増設等教育条件整備に関する請願書

日程第十 請願第三号 健康センター送迎用バス実現に関する請願書

(審査報告)

日程第十一 陳情第四号 原子爆弾被爆者の援護法制定促進決議に関する陳情書

(審査報告)

日程第十二 陳情第七号 町会において管理運営する掲示板の設置に関する陳情書

(審査報告)

昭和五十五年第一回福生市議会定例会議事日程 (第二日目)

(追加 その一)

追加日程第一 議案第三十号 福生市の一般職員の昭和五十五年三月期期末手当の支給割合等を定める条例

午前十時一分 開議

○議長(小林菊三君) ただいまから、昭和五十五年第一回福生市議会定例会第二日目の会議を開きます。

○議長(小林菊三君) 本日の議事運営については、議会運営委員会において検討されておりますので、委員長から報告を願います。

(議会運営委員長 貫井喜代次君登壇)
○議会運営委員長(貫井喜代次君) 御指名でございますので御報告申し上げます。

第二日目の日程等につきまして、昨日議会運営委員会を開催し、検討いたしました結果、日程はすでにお手元に御配付申し上げたとおりの順とし、また、昨日の全協におきまして、理事者側から説明のありました職員の方の三月期期末手当の条例は、本日追加日程としてお願いすることにしたし、支給日等の関係から即決ということで意見の一致を見ました。

なお、本日、全日程終了後、議会側の全協を行うことに、議会運営委員

議二十五 議二十六 議二十七 予備特別委員 議二十八 議二十九 陳一 請 議二十三 予備特別委員 議二十四

会としては了承しておりますので、あらかじめお含み置きをお願い申し上げます。
簡単でございますが、本日の議事が円滑に運ばれますよう御協力をお願い
申し上げます、報告いたします。

○議長(小林菊三君) ただいま委員長から報告されたとおり、本日の議事を進
めますのでよろしくお願いいたします。

○議長(小林菊三君) これより日程に入ります。

日程第一議案第二十三号昭和五十五年度福生市一般会計予算を
議題いたします。

本案について、提案理由の説明を求めます。

(企画財政部長兼総務部長 上野重勝君登壇)

○企画財政部長兼総務部長(上野重勝君) 御指名をいただきましたので、
議案第二十三号昭和五十五年度福生市一般会計予算につきまして、提案理
由並びに概要について御説明を申し上げます。

本予算編成につきましては、国の予算編成方針等につきまして検討を加え

たわけでございますが、国の予算におきましては、財政の健全化とインフレーション防止
というふうなことから、国債を一兆円減らすなど、超収縮型予算を編成
をいたしました。その伸び率も例年と比較して、著しく低い一〇・三%にとどまっ
ております。

こうした関係から、福生市が関係の深い防衛施設庁予算の伸び率、
特に基地周辺施策の整備推進に関する経費におきましては九・九%というふ
うに、はなはだ低い率にとどまっております。また自治省が管理いたします基
地交付金につきましても、その伸び率は六・七%と、例年になく厳しいものござい
ます。

また国の予算編成方針を受けつづられます自治省の地方財政計画におき
ましても、今年度は国の予算よりさらに三%少ない七・三%の伸びにとどまっ
ておりまして、その規模は四十一兆六千四百二十六億円となっておりますが、なお
財源不足額二兆五百五十億円が含まれております。これらにつきましては、
交付税会計への資金運用部からの借入金八千九百五十億円等をもって
充当している状態でございます。また地方交付税におきましても、わずかに

五%増の八兆七百七十五億円にとどまっております。

地方債におきましてはさらに厳しく、昨年は二二・二%の伸びでございましたが、本年度は逆に財源対策債等が削減とされて、九・七%の減額というふうになっております。

また東京都の財政におきしても、すでに御案内のとおり、東京都の財政再建の方策の中間答申に基づきまして、厳しい削減方針が取られ、全体といたしまして二兆八千二百九十四億円。形の上では一千七百十七億円、前年比六・五%というふうになっておりますが、御案内のとおり、東京都の昨年度の当初予算は骨格予算ということでもございまして、六月補正と合わせてました実質的なものを比較いたしますと、逆に〇・三%の減というふうになっております。

また、この中では区市町村との財政の調整に関する項が入っております、補助金の適正化、あるいは財源補完の制度として、従来計上されておりました六十八億九千六百万円が減額となりまして、この振りかえ財源といたしまして、調整交付金制度が設けられて五十八億円が新たに加えられたんですが、

差し引きをいたしますと、前年度との比較では十億九千六百万円というところの減額に相なっております。これを福生市の例に適用いたしますと、先般説明申し上げましたが、約五千万円弱の減額となります。

このような背景のもとに、本年度の福生市の予算を編成した次第でございますが、これは昨日の市長の所信表明でも申し上げてありますように、市長の任期等の関係もあり、また、厳しい財政事情等もございしましたが、すでに基本計画、あるいはまた実施計画におきまして予算に予算を定めて、この事情もあり、あるいはまた防衛施設庁、文部省等の関係で補助金も七、定をいたしておる事業等もございします。あるいはまた西住宅周辺排水の幹線工事、あるいはまた市営住宅の建設事業等、大幅な事業が継続事業としております関係、あるいはまた、東京都におきましても補助金等が削減とされましたが、それに対する財政補完措置を取るなどして、行政サービスが落ちないというふうな指示もあり、また市の行政が一刻も停滯を許されないというふうな環境のもとにおきましては、できるだけ通年の予算を計上すべきであると、昨日の市長の所信表明の中にもございしたとおりでございます。

て、この結果、本年度の予算総額におきましては九十六億二千八百五十四円と、前年度と比較をいたしますと一四・七％の増額でございます。これを市民一人当りに換算をいたしますと十九万七千三百二十三円でございます。他市と比較におきましては、かなり大幅な予算であろうというふうに判断をいたしております。また、直接市民が負担をいたしますところの市税につきましては、一人当たり六万四千百七十円ということで、三二％程度の割合に相なっております。

以上のようなことで予算を編成したわけでございするが、このうち、まず第一に歳入につきまして、ごく大要について御説明を申し上げます。

まず市税におきましては三十一億三千百五十万円、前年度の比較では一九・八％と、かなり大幅な伸びを示しております。また、先ほども触れましたように、その構成比は、いわゆる三割自治と言われますように三二・五％でございまして、これは国の地方財政計画によります市税の伸び一四・六％、租税収入の伸び率一二・四％と比較をいたしますと、かなり大幅な伸びを見込んでございます。

次に、これと関連をいたします地方税法の関係におきましては、目下国会で地方税法が審議中でございますが、この中では個人住民税の基礎控除と

配偶者控除の引き上げ等の課税最低限の引き上げがなされております。また、その他の減収になります補てん等としては、所得割りの税率に合の亦又更とか、あるいはまた均等割りの現行七百円を一千円に上げる。それからまたがス税の免税点の引き上げ等、一連の財政強化の措置は取られております。この地方税法改正につきましては、国会の審議が可決し、決定をし次第、市条例の改正も必要となりますが、その時期等との関係もございまして、場合によると、専決処分というような形でお願いをすることになるかと思っております。

それから、次の国有提供施設等所在市町村助成交付金、いわゆる基礎交付金でございますが、本年度の予算計上額は十億四千七百三十五万四千円でございます。前年度当初予算との比較では一一・三％の増となっておりますが、これは五十四年度の実績分として計上いたしておりますので、歳入については、この程度の見込みはできる見込みでございします。

次に、地方交付税におきましては九億五千二百二十三万円、前年比四・三％の増を見込んで計上をいたしてございます。